

島根大学研究見本市

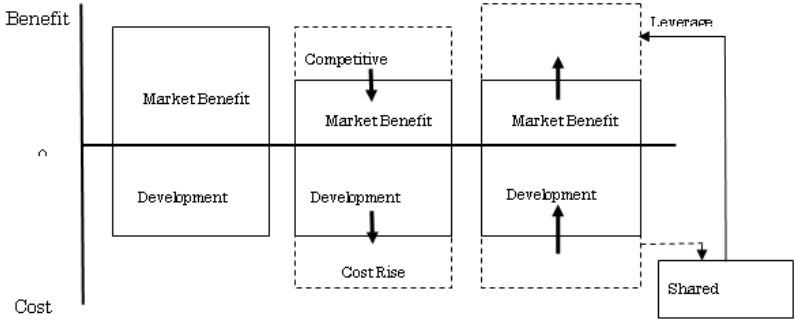
研究テーマ名
 オープンイノベーションによるビジネスモデルの成立と生産性の分析
 (英訳) Study of Business Model and Productivity by Open Innovation

研究者紹介

野田哲夫・法文学部・教授
 NODA Tetsuo
 Faculty of Law and Literature
 Professor

概要

「知の共有化・創出モデル」として注目されるオープンソースソフトウェア（以下、OSS)の開発を「オープンイノベーション」と定義し、OSSを活用したビジネスモデルの成立と情報サービス産業の生産性を実証的に明らかにします。
 The purpose of the study is to find out the mechanism how high added value is created from the wisdom of crowds, through the analysis of the development style of open source software and its business model.



特色
 研究成果
 今後の展望

情報サービス産業において欠かせない外部資源であり、かつ「無償の経済」や「贈与経済」と象徴され、計測の困難性を有するOSSの関与を定量的に明らかにし、その開発スタイル内部資源と外部資源との「連結」として分析するモデルを構築します。これは外部資源の計測の困難性を克服する新規性のある研究で、従来のイノベーションを超えたオープンイノベーションを経済システムの進化と捉えて理論化する、学術的に特色ある研究であり、独創的な研究です。
 また、「知の共有化・創出」による外部資源の活用は情報サービス産業に止まらない産業全体の課題です。情報サービス産業を含めて日本産業の生産性の低さが指摘されている現在、実証データから外部資源を推計して労働生産性を計測することは、産業の生産性を導出するモデルの創出にもつながり、研究面からも産業政策の面からも意義のあるものです。

キーワード

オープンイノベーション オープンソース 情報サービス産業
 ビジネスモデル 生産性

リンク

<http://albatross.soc.shimane-u.ac.jp/oss/index.html>